

広報

shobara

7

2009/July
No.52

Shobara
SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

【特集】

「婚活」のススメ

- 10 市役所駐車場の位置が変わります
- 11 ペレットボイラーが補助対象に
- 12 ニュースワイド 20 カメラレポート
- 18 市政トピックス 25 お知らせ

梅雨時期のデートにおすすめの備北丘陵公園「アジサイ園」。
約80品種1万株のアジサイが植えられ、7月中旬ごろまで楽しめます。

特集
Special

「婚活」
のススメ

こん
かつ

のススメ

結婚活動：略して「婚活」という言葉が、最近話題になっていきます。

就職するために就職活動が必要のように、結婚に向けて積極的に活動しなければ結婚できない時代に入ったと、さまざまメディアで取り上げられています。

本来、結婚はプライベートな問題ですが、人口減少が進む庄原市においては、当事者だけでなく地域の将来を左右する大切な問題でもあります。

この結婚難の時代をどのように活動し、またどのようなサポートが求められているか、みんなで考えてみましょう。

Chapter 01

なぜ「婚活」が必要なのか

一昔前に比べると周りに独身者が増えてきたと言われています。本当のところはどうなのか。現在の結婚事情を調べてみました。

全国調査から見える姿

近年、生涯未婚率が急上昇しています。生涯未婚率とは、50歳までに一度も結婚をしたことのない人の割合。国立社会保障・人口問題研究所の資料によると、平成17年の生涯未婚率は男性が16.0%、女性が7.3%と過去最高になりました。また、30歳から34歳で男性の未婚率が5割に近づき、女性

は3割を超えています。

各年代で未婚率が上昇していることから、今後急速に生涯未婚率が増加すると見込まれています。

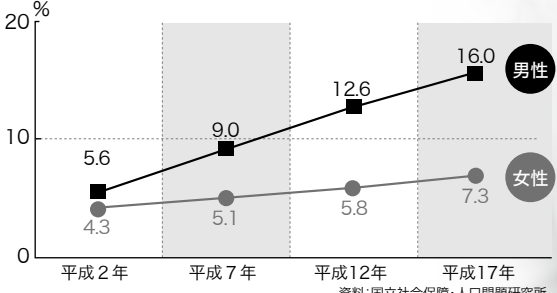
しかし、「結婚したくない」という若者が増えているわけではありません。同じ資料では、18歳から34歳の独身者の約9割が「いずれ結婚したい」と答えています。

では、なぜ結婚したいのにしていな

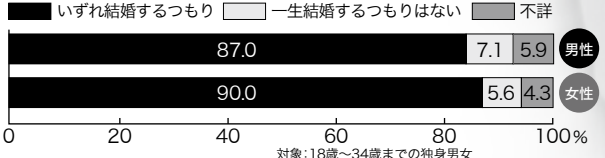
いのか。25歳から34歳までの男女は、その理由のトップに「適当な相手に巡り会わない」を挙げました。

これらの調査結果から、多くの専門家は「自然なカタチで良いパートナーに巡り会いたい」と思っている人は取り残される。結婚には、今まで以上に自助努力が必要だ」と指摘しています。

生涯未婚率の推移【50歳 男女】



結婚の意志



写真提供：庄原グランドホテル

庄原市の結婚事情

周りの独身者に話を聞くと「仕事場は同性や既婚者ばかり。仕事帰りや休みの日も独身の異性と知り合う機会がない」「20代の時は合コン(飲み会)の話もあつたけど、30歳を過ぎて周りが結婚してくると、だんだん誘いがなくなってきた」「出会いがあつても、結婚したいと思うような出会いはない」など、独身者の多くが「出会いのチャンスが少ない」と感じているようです。

国勢調査結果(庄原市)を見ると、25〜44歳の総人口が平成2年から平成17年で3522人減少している反面、25〜44歳の未婚者数は450人増加しています。特に男性の未婚者数は、平成17年で女性の約2倍と、男性の結婚を取り巻く状況の厳しさが数字に表れています。また、女性の未婚者数が平成2年の447人から平成17年の754人と急増。各年代の未婚率も上昇しており、男性だけの問題ではなくなっています。

庄原グランドホテルの矢野隆文支

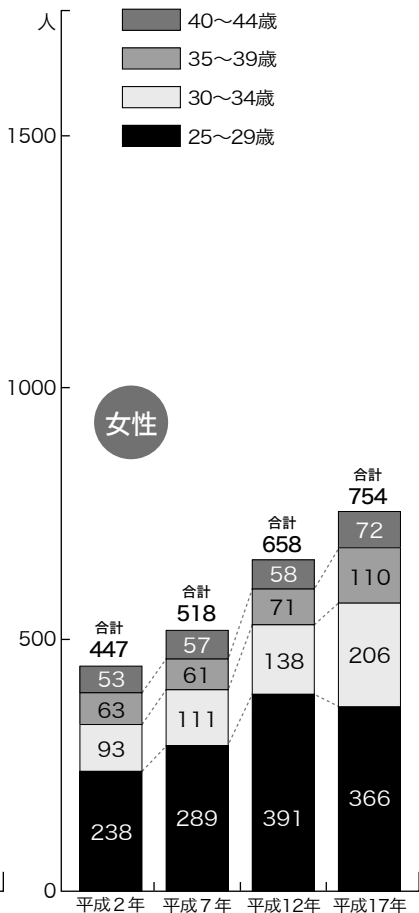
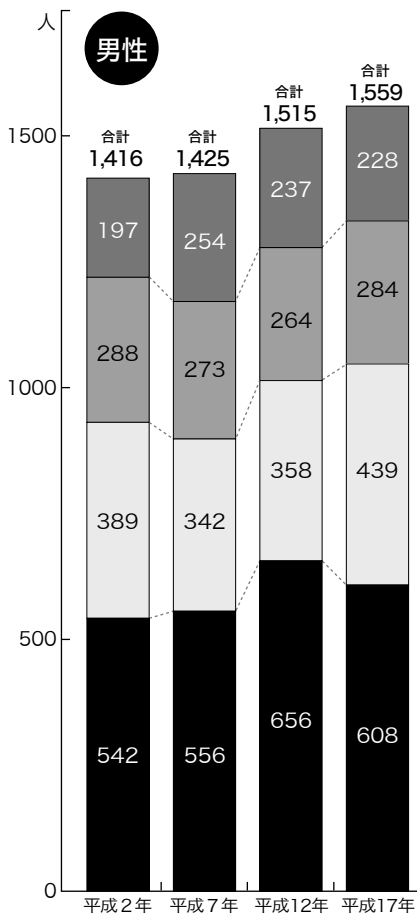
配人は「昔は職場の上司や親戚、近所のおじさんやおばさんが『そろそろ結婚したら、いい人を紹介してやろう』と周りが声をかけていた。しかし、最近はお見合い自体が激減し、当ホテルの結婚式で仲人を立てる人は、ほぼゼロと言つてもいい。それだけ男女の出会いをお世話する人が減つたということ。地域の力が落ちてきたことが未婚率の上昇につながっているのでは」と分析しています。

自らを「おせっかいやき」と認める小林富子さん(東城町)は、長年、男女の出会いをサポートしてきた一人。県の生活改良普及員として働いていた小林さんは、仕事で農家を訪ねるたびに結婚相談を持ちかけられ、世話好きな性格から36組のカップルを誕生させました。「お世話をする人が減つてきたのは確か。それに今の若い人は、結婚はしたいけど、良いパートナーがいなければ、無理して結婚しなくてもいいと思つている。昔のようにはいかない」と状況の難しさを指摘します。

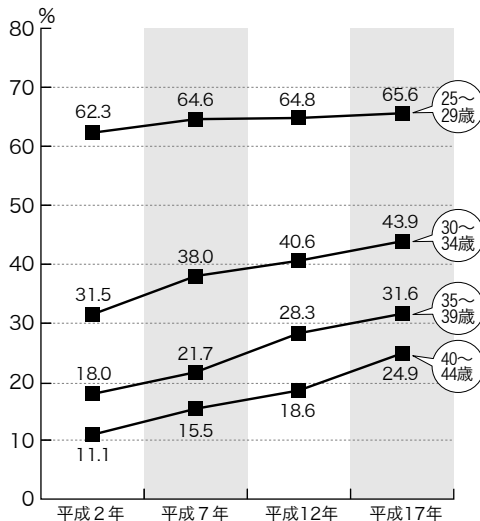


庄原市の未婚者数

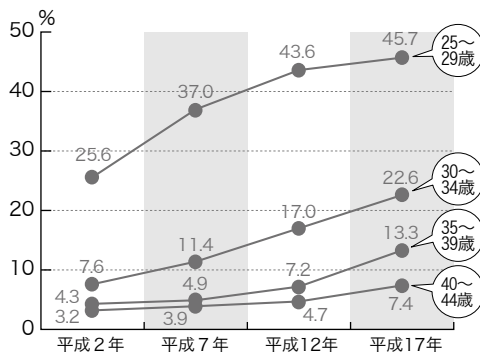
資料:国勢調査



庄原市の未婚率(男)



庄原市の未婚率(女)



「婚活」を支援する

定住対策として、男女の出会いをサポートしようとして行政などが動き始めました。他の自治体も注目する庄原市の取り組みを紹介します。

市役所が縁結びを応援

合併前、定住対策として旧口和町・旧高野町・旧比和町の3町が合同で行っていた「男女の出会いツアー」を引き継ぐカタチで、平成18年度から庄原市の「男女の出会いサポート事業」がスタートしました。

男女の出会いを作るためには、あらゆるネットワークが必要だと、市内の各種団体や一般市民にも参加を呼びかけ、「庄原市男女の出会いサポート実行委員会」を設立し、実行委員会形式で取り組んでいます。

この事業の柱は「自然遊び体験ツアー」。市内の男性と市内外の女性が、ピザ作りやそば打ち体験、イルミネーションなどを楽しみながら、お互いに理解を深めていくイベントです。平成18〜20年度で36組のカップルが誕生し、うち5組が結婚、1組が婚約中です。

その他、広島市民球場で野球観戦をしながら交流を深める「カープ応援ツアー」、出会いの少ない息子や娘に代

わって、親同士が良縁を探すイベント「独身者を持つ親同士の情報交換会」、コミュニケーション能力を高める「男性向けセミナー」などを実施してきました。

「都市部と違って庄原市には、男女の出会いイベントを開催する民間企業がないので助かる」「市役所が関わるイベントなので、女性も安心して参加できる」など、好評を得ています。



イベントを企画する実行委員



男性向けセミナー



自然遊び体験ツアー

ツアー事例

そばって・ピザって・里山の秋ツアー

平成20年11月1日実施 男女各20人参加

- 9:00 広島駅 女性参加者集合
- 10:45 男性参加者合流
- 11:15 鮎の里(口和町)へ到着
自己紹介
- 12:00 食 事
- 13:00 そば体験、ピザ体験
- 16:00 そば&ピザ会食
フリータイム
- 18:00 告白セレモニー



男女でそば粉をこねる



庄原市ふれあいセンターの2階に開設。

県内初！社協が結婚支援

「夫婦は『お互いさま』と助け合う地域福祉の一番基礎となる単位。結婚がなければ、いつか家族は途絶え、地域に暮らす人も減ってくる。このままだと、地域の中での支え合いがなくなり、ますます住みにくい社会になる。地域福祉の向上を進める社会福祉協議会としても、今の未婚率の上昇は見越せない」。庄原市社会福祉協議会は昨年10月、庄原市ふれあいセンター2階に「ブライダルサポートセンター」（結婚相談所）を開設しました。

社会福祉協議会が自ら結婚支援事業に取り組むのは、県内でも初めてで、全国的にも珍しいケースです。庄原市社会福祉協議会の上田正之センター長は「昔のように地域に未婚の男女がたくさんいて、出会いのチャンスがいっぱいあった時代ではなくなりました。市役所と連携し、安心して相談・登録できる場を提供したかった」と話してい

ます。

ブライダルサポートセンターでは、男女の登録会員を募集し、専属の相談員が希望を聞きながら出会いの場を設定します。また、定例相談日を設け、登録や出会いのお手伝い、独身者やその家族からの相談に応じています。

6月15日現在の登録者は、男性が24人、女性7人。年齢層は男性が28〜55歳、女性が25歳〜38歳で、30代を中心に登録者が増えています。双方の合意があつて初めて出会いの場を設定されますが、これまで3件の出会いを設定しています。

松島均相談員は「まだまだPR不足もあり、ブライダルサポートセンターが若い人に認知されていない。今後は女性が多く出入りする美容院など地域に向いて、女性会員を増やしていきたい。そして、第1号のカップルを早く誕生させたい」と意欲を燃やしています。



会員の情報をパソコンに入力する松島相談員



まつ しま ひとし
松島 均 相談員

昭和23年口和町生まれ。元庄原市職員。

登録・相談は無料

① 会員登録

会員登録申請書とプロフィールカードを社会福祉協議会へ提出してください。申請書などはお近くの社会福祉協議会または商工観光課にあります。郵便での取り寄せもできます。登録後は、プロフィールカードの閲覧を通じて、出会いの場を設定することになります。

② 定例相談日

毎週月曜日と第2・第4の日曜日13時30分〜16時30分。

電話または来訪してください。専属の相談員が対応します。

※定例相談日に行かれない場合も、事前に連絡をいただければ相談に応じることができます。

お気軽にご相談を

登録会員の皆さんは真面目な方が多く、なぜ結婚されていないの？と思う人もたくさんいます。皆さんの話を聞いてみると、ほとんどの方が「これまでの人生の中で結婚するチャンスはあった」と言います。その時たまたま決断できなかった、タイミングを逃した方も多く、そういう方や結婚経験のある独身者に、もう一度チャンスを提供したいと思います。

個人情報取り扱いには十分に気をつけています。ブライダルサポートセンターに対する不安や質問、悩みなど何でも結構です。まずはお気軽にお問い合わせてください。



「婚活」成功のポイント

結婚難の時代をどのような心構えで婚活にのぞみ、どのように活動していけばよいのでしょうか。
男女の出会いをサポートしてきた2人に伺いました。



庄原市社会福祉協議会
総合センター長

うえ だ まさ ゆき
上田 正之さん

昭和29年口和町生まれ。
11年間民間会社で勤務後、平成元年に口和町社会福祉協議会に入職。平成17年4月から現職。

コミュニケーション能力を高めよう

自己アピール力を磨こう

男女の出会いイベントでカップルになれる人は、自分のセールスポイントをきちんと見つけ、それをアピールできる人です。

特に男性に見られるのですが、イベ

ントに参加しても男性ばかりでかたまりたり、女性と2人で話す機会を設けてもらう機会がなかったり…。そういう人の多くが、真面目でいい人。本当はいい男性なんだけど、もったいないと感じることがあります。「真面目でいい人」という強い武器を持って

いるのに、自分の魅力をアピールできないためにカップルになれないのです。

独身者には、このことに早く気付いてもらい、努力を始めてほしいと思います。

価値観をプラス志向に

独身者と話をしていると、自分の置かれた環境を嘆く人がいます。極端なことを言えば、雪が多い、夜は真っ暗、親と同居しないといけない、近くにショッピングセンターがない…。そういうことをすごくマイナスにとらえています。しかし、それを嘆いても仕方ありません。それよりは「雪は多いけど、スキーやスノーボードができる」「満天の星空が楽しめる」「親に子どもをあずけて出かけられる」など、自分の環境をプラスに考えてほしいと思います。

マイナス志向は異性から「暗い人」と見られます。自分たちが住んでいる地域を好きになり、常にプラス志向の意識を作ることが大切です。

社協のセミナーで自分磨き

社会福祉協議会では、①ブライダルサポートセンターで出会いのきっかけを作る、②相談員によるフォロー体制を作る、③セミナーで独身者の魅力

を高める、この3つが循環していけば成婚率が高まると考えています。

本年度も、出会いの場で異性と素直に話せたり、自分の魅力をもっと表現できたり、そんな力を付けてもらおうと「自分の魅力再発見講座」を2回程度開く予定です。自ら積極的に参加し、チャンスをつかんでほしいと思います。

周りはおせっかいをやいて

最近は、ブライダシーの問題に立ち入りたくない、立ち入ってはいけないという雰囲気がありますが、周りの人におせっかいをやいてほしいと思います。

これは、何も結婚に限ったことではなく、うれしいことがあれば一緒に喜び、困っていることがあれば一緒に悩むという、いい意味のおせっかいが社会には必要です。

自分たちが紹介した縁で幸せな家庭ができるというのは、自分たちにとっても幸せなこと。市民みんなが縁を手繰り寄せて一組ぐらいいは結婚させようという意識するだけで状況が変わってくるのではないのでしょうか。また、「ブライダルサポートセンターに登録してみたら」「市の出会いイベントに参加してみたら」など、できる範囲でおせっかいをやいてほしいと思います。

結婚紹介所へ登録に来られる方は、皆さん勇気を振り絞って一大決心で来られます。「出会いがない」という人や、「将来的な不安から結婚を考えたい」という人、「なんでわたしがこんな所へ来ないといけないの？」と仕方なく親に連れられて来る人など、さまざまです。

男女共に変なプライドは捨てて、もっと気軽に婚活を楽しんでほしいと思います。婚活は出会いのチャンスを広げるもの。「楽しいお付き合いができれば」と気軽にお見合い感覚で始めてください。

気軽に婚活を始めよう

人生を良きパートナーと歩むというのは素敵なことです。年齢が高い方も結婚経験のある方も、あきらめずに、いい出会いを探してほしいと思います。

女性も積極的に声をかけて

今は女性も積極的に動く時代。男性から声をかけてもらおうのを待っている、いつまでたってもいい男性をつかまえられません。最近では、男性も受け身。ある程度、自分からリードするくらいでいいと思います。結婚したら女性が家庭を仕切る場合も多く、結婚前の一定期間だけ男性にリードを期



元結婚紹介所アドバイザー

寺内 哲子さん

昭和28年口和町生まれ。広島市内の結婚紹介所でアドバイザーとして勤務。現在は口和町で民宿を経営。

果敢に挑戦しチャンスを広げよう

待しても無理があります。いい男性だと思ったら、女性から積極的に声をかけていくべきです。

趣味を通じた出会い探し

以前は、高学歴・高収入・高身長を求める女性が多くなりましたが、今の女性は「おもしろい人・楽しい人」を男性に求めています。プロフィールカードに真面目な性格と「行だけ書いてあっても、「おもしろくない人」と女性は興味を示しません。

男性は既婚者を含めて、趣味がない人、休みの日はパチンコという人も多いのですが、もつと遊びが必要だと思っています。

最近では、インターネットで共通の趣味を通じた交流の場が増えており、その中で多くの出会いがあります。また、異性比率の多いサークルに加入するのも有効です。共通の趣味や話題があれば、仲良くなれるチャンスが広がってきます。

一歩踏み出すことが大事

出会いイベントに参加したり、結婚紹介所に登録したり、婚活を始めるといい意味で自分の価値を知ることができません。学生時代は異性から受けた自分は高学歴だと自信をもっている人はショックを受けることもありますが、自分に欠けている部分があり、努力するようになります。例えば、セミナーに行つて会話を勉強してみる、流行の美容院へ行つてみる、服装を店員にコーディネートしてもらおうなど。結婚紹介所へ登録することで意識が変わり、そこでうまくいかなかったとしても、他でいい出会いに巡り合う人も多くいます。結婚したいと思つて何も行動しないよりは、勇気を持つて一歩踏み出すことが大切です。



「婚活」に参加しよう

男女の出会いが少ない庄原市では、市の男女の出会いサポート事業は貴重なチャンスの一つ。本年度の事業について事務局に聞きました。



商工観光課定住推進係
まえ だ ただ のり
前田 忠範 係長

蓄積してきたノウハウを活かし 出合いをサポート

気軽に参加できるイベントに

世の中「婚活ブーム」と言われていますが、市内での婚活にはまだまだ消極的です。男性も女性も出合いにガツガツするのが「はずかしい」「かつこ悪い」と思っ、出合いイベントを募集しても、声をかけてもらうまで待つているという人がほとんどです。

このような状況を踏まえて本年度

は「新球場へカープの応援に行こう」「自然体験や秋の味覚を楽しもう」と、気軽に参加できるイベントにしたいと思えます。

社協と連携しチャンスを増やす

男女の出合いイベントは、実施した後のフォローが大切です。カップルになれなかった女性から「〇〇さんとゆ

っくり話してみたいのですが、もう一度会えませんか」など、さまざまな相談が市役所へ寄せられます。1件の電話相談に1時間を越えることもよくあり、きめ細かいフォローをしていく体制に課題がありました。また、年に1〜2回のイベントをするだけでは、多くの独身者を支援することはできず、行政だけでなく協力がほしいと感じていました。ですから社会福祉協議会が「ブライダルサポートセンター」を開設されたことは本当に画期的なこと。イベントの参加者へブライダルサポートセンターを紹介するなど、連携して成果を出したいと思えます。

今後、①ブライダルサポートセンターへ会員登録する、②独身者向けのセミナーへ参加する、③市の出合いイベ

ントへ参加する、④お見合いや他の婚活イベントへ参加するなど、さまざまな活動を組み合わせることでチャンスが広がってくると思えます。

田舎暮らしに追い風

昔は農村へ嫁ぐこと自体抵抗を感じる方が多くいましたが、最近価値観も多様化し、田舎暮らしへ追い風が吹いていると感じています。

例えば昨年行った「自然体験ツアー」には、女性定員20人のところ70人を越える問い合わせがあり抽選をするほどでした。また、参加した女性が「農家が希望ですが、農家の方はおられますか？」「結婚したら自分で野菜を作ってみたいのですが畑はありますか？」



などと聞いたたり、独身女性の母親から「娘が3人いますが、みんな庄原市に嫁に行ってもいい」と積極的なアプローチがあったり、これまでなかった反応に驚いています。

参加者には、この追い風を敏感にとらえ、田舎暮らしの良さを積極的にアピールしてほしいと思います。

各団体の婚活を支援

昔は地域の力で、ほとんどの方が結婚していましたが、今はその力がほとんど発揮されていない状況です。もう一度、地域の力を復活させることができれば、もつと結婚しやすい環境が作られると思います。

現在、庄原グラウンドホテルでは「地域の世話好きの人を集めて独身者の情報交換会をやりたい」と新たな企画を練られています。この企画は、企業や自治振興区に参加を呼びかけても効果的かもしれません。また、商業関係者も「未婚率が高くなると将来的に人口が減り、商品が売れないなど地域経済にも大きな影響を与える。このままではいけない。自分たちでできることをしたい」と、意欲的です。

今後は、このような各地域の団体が行う出会いイベントにも支援をしていきながら、地域全体に婚活支援の輪が広がることを期待したいと思います。



平成21年度

**男女の出会い
サポート事業**

参加者募集

●カーブ応援ツアー

庄原市から貸切バスでマツダスタジアムへ行き、カーブ観戦を通じて交流します。

とき 9月5日(土)

定員 男女各20人

対象 市内在住の独身者

●自然遊び体験ツアー(予定)

西城町の採れたて新鮮食材を使って、県民の森で調理しながら交流します。

とき 10月上旬(日帰り)

定員 男女各20人

問い合わせ

商工観光課定住推進係

0824-73-1178

※詳しい内容が決まりましたら、広報紙などでお知らせします。また、商工観光課へ事前にお問い合わせください。個別にチラシなどを送付することもできます。

【編集者の目】

ほとんどのの方が結婚できた時代と結婚難の今とでは時代が大きく異なります。「はよー結婚せえ」と言っている親の世代も、今の時代だったら結婚できていないかもしれません。この状況をみんなが共有することで、婚活が「はずかしい」とか、「かつこ悪い」という意識が、少しずつ変わっていくように感じました。そして、「ただいま婚活中です。いい人紹介してください」と明るく言える環境をみんなで作っていく必要があると思いました。婚活で一人一人の幸せが増えれば、庄原市の活力にもなります。

取材中、収入格差が結婚格差につながっているという調査結果がありました。市内でも、不景気でフライダルサポートセンターの登録会員がリストラにあい、婚活どころではなくなつたと聞きました。

このように結婚には、社会状況が複雑に絡み合っているため、未婚問題は一筋縄では解決できません。

ということとは、結婚している人も他人事ではなく、若者の雇用・労働状況や低賃金の改善、結婚して庄原市に住みたいと思えるまちづくりなど、協力できることがあるかもしれません。どうしたら結婚しやすい社会になるか、独身者をサポートできるか、ぜひ職場や地域でも考えてみてください。

特集を読んだ感想・ご意見、婚活に関するアイデアなど、企画課広報統計係へお寄せください。



市役所駐車場の位置が変わります

総務課行政係 ☎0824-73-1123

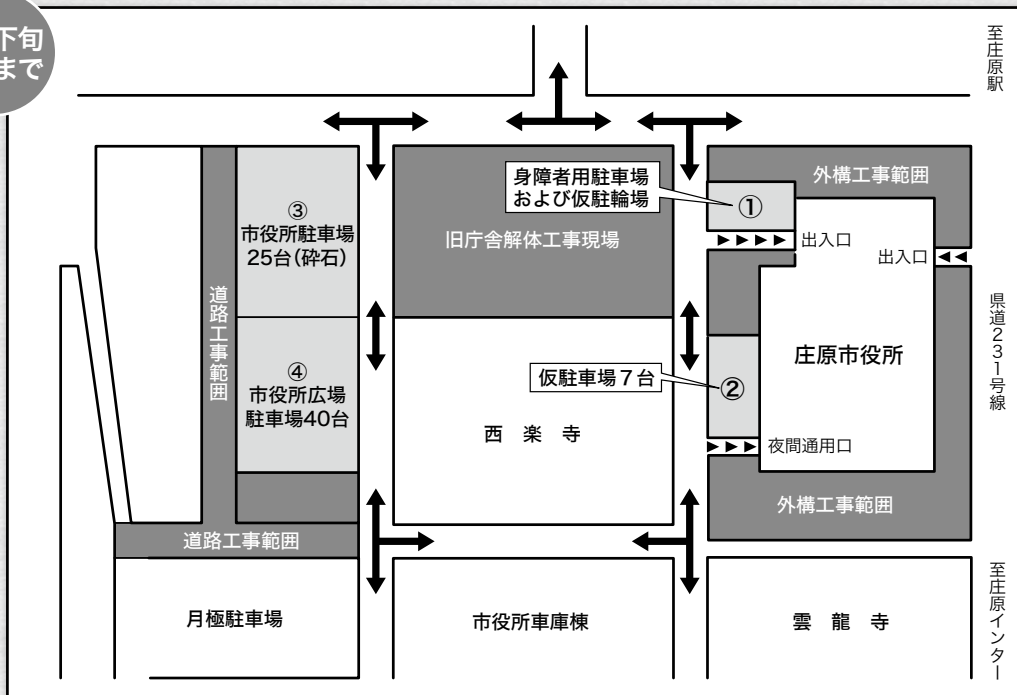
旧庁舎解体撤去工事および新庁舎外構整備工事などに伴い、市役所駐車場の位置が移動します。工事が完成する秋まで、市民の皆さんには来庁時の駐車などで大変ご迷惑をおかけしますが、引き続きご協力をお願いします。

なお、工事の進捗状況により、予定していた駐車場の位置を変更する場合があります。

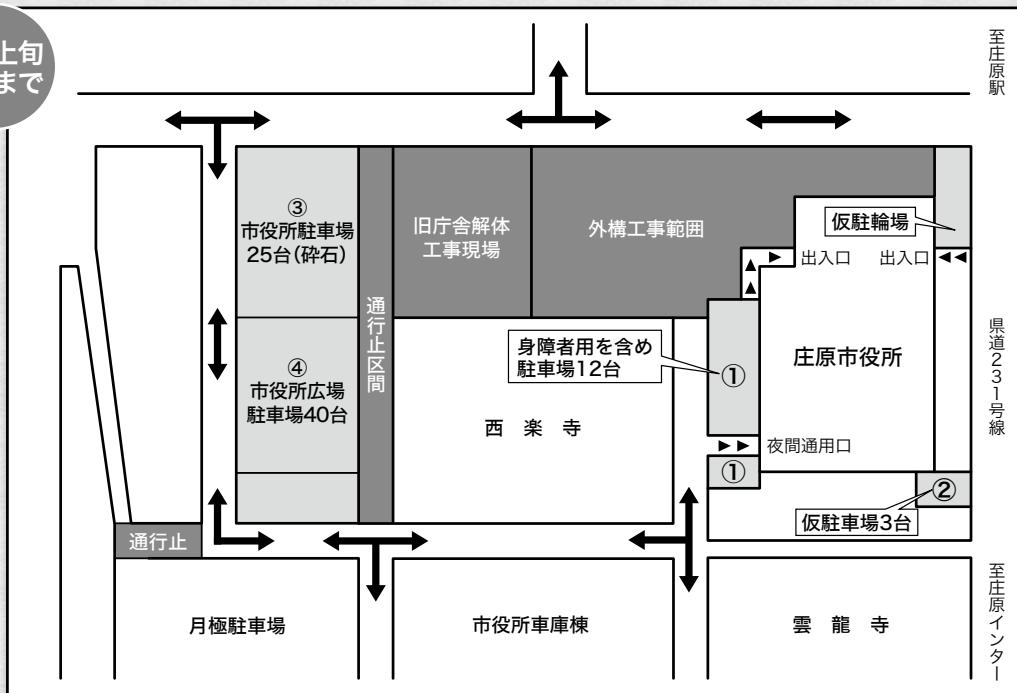
庄原市役所駐車場案内

この色のエリアが駐車場となります。

7月下旬
ごろまで



9月上旬
ごろまで



新たにペレットボイラーも対象に! ペレットストーブ等 購入促進補助金

政策推進課 ☎0824-73-1113

市は、二酸化炭素排出量の削減や環境にやさしいまちづくりを進めるため、事業所や一般家庭へのペレットストーブ導入に対して、昨年度から購入促進補助金の交付を実施しています。

本年度は、ペレットストーブのほかに、新たにペレットボイラーも交付対象として加えましたので、ぜひ制度をご活用ください。



ペレットストーブ

●補助内容

【ペレットストーブ】

購入、設置などの経費の1/3、上限額12万円で補助金を交付します。

【ペレットボイラー】

購入、設置などの経費の1/3、上限額50万円で補助金を交付します。

●対象となる方

以下の要件すべてに該当する方が対象となります。

- 市内に住所がある方または事務所を有する法人・団体
- 市内の事業者が取り扱うストーブまたはボイラーを購入する方
- ストーブまたはボイラーの設置場所が市内にある方
- 市税・納付金などを滞納していない方(個人設置者は世帯員全員)
- ストーブまたはボイラーの使用状況などについて、市のモニター調査等の啓発事業に協力できる方

●申込手続

申請書に次の書類を添付し、政策推進課または各支所地域振興室まで郵送または持参により提出してください。

- 購入経費の内訳が明記されている見積書の写し
- 設置機種のカタログ
- 市税などに未納がないことを証明する書面(同意書の提出により省略できます)

【ペレットボイラーとは】

ペレットストーブと同じく、木質ペレットを燃料とするボイラーです。

これまでは、宿泊施設など大規模施設の給湯や冷暖房のための大型なもの主流でしたが、最近は家庭用の小型給湯ボイラーも開発されています。

現在、市内で取り扱われているペレットボイラーは左記のとおりです。



ペレットの価格は1kgあたり45円前後



家庭に設置されたペレットボイラー

参考機種名:NTW-150

販売元	日鋼設計(株)(広島市)
製造	広島和田金属工業(株)(庄原市)
定価	約150万円
設置費用	10万円前後
定格出力	30kW
大きさ	幅62cm×奥行140cm×高さ175cm
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・4人～5人の家庭の一日の給湯(風呂・炊事など)が賅えます。 ・湯槽が150Lで連続給湯が可能であり、通常の使い方では湯切れは起こりません。 ・100kgのペレットタンクを備えており、約1カ月分の燃料が貯められます。 ・自動運転モードならボタン一つで運転可能。
その他	<p>本体価格および設置費用は目安です。詳しくは販売元または政策推進課にお問い合わせください。</p>

digital

完全移行まであと2年

地デジ

放送への 対応はお早めに

政策推進課

☎0824-73-1113



平成23年7月の地上デジタル放送への完全移行まで、あと2年となります。

市内では、今年新たに高野・庄原川北・口和・比和中継局が開局となり、神石高原町の油木局も開局され、多くの地域で地上デジタル放送が視聴可能となります。

【平成21年開局予定中継局】
8月／高野、油木（神石高原町）
9月／庄原川北、口和
11月／比和



?

なぜ、地上テレビ放送をデジタル化するのか

地上テレビ放送のデジタル化により、ハイビジョン並みの高画質・高品質な映像、音声サービスをはじめ、今までにない高度で多彩なサービスの提供が可能となります。

また、アナログ放送に比べ、電波の有効活用が図られます。地上デジタル放送への完全移行後には、それまで地上アナログ放送に使っていた周波数の一部を携帯電話や新たな無線サービスへ利用できるようになり、周波数の混雑が緩和されることから、関連産業への大きな経済波及効果も期待されています。

?

地上デジタル放送を視聴するには

地上デジタル放送を視聴する方法は2つあります。

- ①地上デジタル放送対応のテレビに買い換える
- ②地上デジタルチューナーやデジタルチューナー内蔵録画機器を買い足す

詳しくは、(社)デジタル放送推進協会のホームページをご覧ください。電気店や総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）まで、お問い合わせください。

(社)デジタル放送推進協会ホームページ <http://www.dpaor.jp/>

共聴施設は早めの改修を

昨年度から市は、地上デジタル放送受信のため共聴施設を改修する組合に対して補助を行っています。本年度からは、NHKの助成制度を活用することで、一世帯当たりの最終的な実質負担が7千円となるよう補助制度を改正しました。

地上デジタル放送完全移行の期日が近づくと、改修工事が集中すること

が予想されます。受信中継局が開局済みの共聴組合は、できるだけ早めの改修をお願いします。

なお、共聴施設の新設に対する補助制度についても検討を進めており、今後、国やNHKの助成制度などを踏まえ、対応方針を決定していきます。

自宅で地上デジタル放送が視聴できない方は

ご家庭のテレビで地上デジタル放送が視聴できない場合は、まず電気店へご相談ください。電波が弱いことが原因と判断された場合は、その旨を政策推進課または各支所地域振興室へ連絡してください。皆さんからお寄せいただいた情報から実態把握を進め、今後の対応を検討していきます。

なお、国も実態を直接聞き取りしていますので、電波が弱い場合は地デジコールセンターにも連絡をお願いします。

問い合わせ

地デジコールセンター

☎0570-07-0101

受付時間

平日 9時～21時

土曜・日曜・祝日 9時～18時

※IP電話の番号でつながらない場合は☎03-4334-1111へ

【開催日程】

地域	とき	ところ
庄原	7月15日(水)19時～	敷信自治振興センター
	7月30日(木)19時～	本村自治振興センター
	8月1日(土)19時～	東自治振興センター
	8月5日(水)19時～	山内自治振興センター
	8月6日(木)19時～	高自治振興センター
	8月7日(金)19時～	北自治振興センター
	8月28日(金)19時～	市民会館集会室
	9月7日(月)19時～	峰田自治振興センター
西城	8月3日(月)19時～	ウイル西城
	8月24日(月)19時～	小鳥原小学校
東城	7月21日(火)19時30分～	八幡多目的研修集会所
	7月22日(水)19時30分～	帝釈環境改善センター
	8月4日(火)19時30分～	内堀健康増進センター
	8月19日(水)19時30分～	東城支所
口和	8月10日(月)19時～	口和文化ホール(ヒューマンライツ)
高野	7月23日(木)19時30分～	上高公民館
比和	7月17日(金)19時～	比和文化会館
総領	8月31日(月)19時～	総領文化会館

※詳しくは、企画課広報統計係または各支所地域振興室までお問い合わせください。

あなたの声を 聴かせてください

市政懇談会

企画課広報統計係
☎0824-73-1159

市民の皆さんの声を市政に反映させるため、市政懇談会を実施します。7月中旬からスタートし、市内18会場で行います。今回は、主に地域の個性を生かす「クラスター」のまち実現プロジェクトについて説明し、市民の皆さんと意見交換します。

地域審議会委員を募集

企画課地域振興係 ☎0824-73-1128

市は、地域住民の声を施策に反映させ、きめ細やかな行政サービスを実現するために、旧市町ごとに地域審議会を設置しています。

地域審議会では、新市建設計画の変更、それぞれの区域における事業の進捗状況などについて、市長の諮問に応じて審議するほか、審議会が必要と認める要望事項などについて、市長に意見を述べることができま

す。各地区の審議会委員は、公共的団体の役員、学識経験を有する者、一般公募により選任された方々で、各地区15人以内で構成されます。

このたび、第2期委員の任期が本年8月末で終了することから、次期委員を募集します。

まちづくりに関心のある皆さんのご応募をお待ちしています。

応募資格

●平成21年4月1日現在、満20歳以上の人

●応募する地域審議会の地域内に住所があること

●募集人数 各地区地域審議会に3人程度(原則として女性2人以上)

任期 2年

応募方法

所定の応募用紙に必要な事項を記入して、持参・郵送・ファックス・電子メールのいずれかの方法で応募してください。応募用紙は、企画課または各支所にあります。また、庄原市ホームページからも取り出せます。

応募期限

8月7日(金)まで(消印有効)

選考

募集人数を超えた場合は、原則、抽選により委員を選考します。

その他

①会議開催の都度、市が定める報酬をお支払いします。

②応募の際に寄せられた個人情報、本目的以外に使用することはありません。なお、決定者については氏名・年齢などを公表します。

③これまでに他の審議会などを含め、公募委員として選任されたことがある方はご遠慮ください。

④会議は年1回以上開催します。(本年度は2回開催予定)

問い合わせ・応募先

企画課地域振興係または各支所企画調整室

不登校や子育ての 悩みはありませんか

教育指導課指導係 ☎0824-73-1184

市は、子どもや保護者の悩みに応じるため、相談員や指導員などを配置し、相談窓口を開設しています。

対象は、市内の小中学生とその保護者です。

秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

●スクールカウンセラー

心の教育の専門的な知識をもつスクールカウンセラーが相談に応じます。予約が必要です。

【相談場所・相談日：カウンセラー】

庄原中学校・(金曜日)・石田 茂さん

☎0824-72-2195

西城中学校・(水曜日)・松嶋 由香さん

☎0824-82-2911

東城中学校・(月曜日)・岡本みどりさん

☎08477-2-0337

口和中学校・(月曜日)・岩本 宏さん

☎0824-87-2301

比和中学校・(火曜日)・宮村 忠伸さん

☎0824-85-2110

総領中学校・(水曜日)・中野 裕子さん

☎0824-88-2035

●子どもと親の相談員

特に小学生に関する子育てや不登校の相談に応じます。

【相談場所】東小学校

☎0824-72-0601

【相談日時】

月・水・金曜日 9時～12時

【相談員】岩崎 浩司さん

●訪問支援員

不登校児童生徒の学校復帰に向けて家庭訪問などを行います。

【連絡先】教育指導課

☎0824-73-1184

【訪問支援員】

河戸 靖子さん、森田 政子さん

●教育交流教室「つばさ」

子どもの学校での悩みや相談に応じるとともに、不登校児童生徒の学校への復帰に向けて、学習指導や体験活動の支援を行っています。また、保護者の子育ての悩みや相談にも応じています。希望される場合は、各学校へお問い合わせください。

【庄原市】

成人式



本年度の成人式を、次のとおり行います。新成人の皆さんの参加をお待ちしています。

とき 8月15日(土)

【受付】 9時30分～

【式典】 10時～

ところ 庄原市民会館

対象者

平成元年4月2日から平成2年4月1日の間に生まれ、庄原市内に住んでいる人または庄原市出身の人。

対象者で、庄原市に住居登録をしている人と事前に申し込みをした人とは、7月中旬以降に成人式の案内状を送付します。

申し込み

次に該当する人は、案内状が送付

できませんので、生涯学習課または各支所教育室へ申し込みください。

●現在、庄原市以外に住んでいる庄原市出身の人

●平成21年7月17日以降に庄原市に転入する人(予定も含む)

●現在、庄原市に住んでいるが庄原市に住居登録をしていない人

祝賀パーティー(成人式実行委員会主催)

時間 12時30分～

会場 庄原グランドホテル

参加費 3000円程度

その他

西城町・東城町・口和町・高野町・比和町、総領町から無料送迎バスの運行を予定しています。

問い合わせ

生涯学習課社会教育係

☎0824-73-1188

西城教育室

☎0824-82-2445

東城教育室

☎08477-2-5221

口和教育室

☎0824-87-2115

高野教育室

☎0824-86-2195

比和教育室

☎0824-85-3005

総領教育室

☎0824-88-3067

【開設場所】 備後庄原駅舎内

【開設日時】 月～金曜日

9時30分～15時30分

【指導員】

河戸 靖子さん(月・木・金)

久保田園子さん(火・水)

【問い合わせ】

教育交流教室「つばさ」

☎0824-75-0223

在宅介護を 支援します

在宅高齢者家族介護慰労金



寝たきりなど重度の介護が必要な人を、在宅で介護している家族などに対して、介護に伴う負担を軽減するために、家族介護慰労金を支給しています。支給の対象になる方は忘れずに申請してください。

なお、申請手続きなどについては、高齢者福祉課または各支所保健福祉担当室、市内の居宅介護支援事業所にご相談ください。

■在宅高齢者の該当要件

- ①市内に住所があり、居住している人
- ②要介護4または5の認定を受けている人
- ③在宅で介護が必要な人

■支給対象者

該当要件の①～③すべてに該当する人を平成21年2月1日から7月31日の間、在宅で介護している同居家族などに支給します。

■支給額

在宅で介護した月数に応じて、月額4

千円を支給します。(医療機関、介護保険施設などに月の初日から終わりで入院、入所していた月は除きます)

■申請に必要な書類

- ①在宅高齢者家族介護慰労金支給申請書(居宅介護支援事業者などの確認印が必要です)
- ②口座振替依頼書(すでに提出されている方は不要です)
- ③印鑑

※①、②の書類は高齢者福祉課および各支所保健福祉担当室にあります。

■申請期間

8月3日～24日まで。

■支給時期

9月下旬に、指定の口座へ振り込みます。

■問い合わせ・申請窓口

高齢者福祉課介護保険係 ☎0824-731167 または各支所保健福祉担当室

公文書の公開と個人情報の運用状況

総務課行政係 ☎0824-731123

平成20年度の庄原市の実施機関が持つ公文書の公開および個人情報の運用状況をお知らせします。

市は、市民の皆さんの公文書の公開を求める権利を明らかにし、市政に関する情報の公開について適正に

行い、開かれた市政を推進することに努めています。

また、その一方で個人情報の保護が重要であることを認識し、市が保有する個人情報について、保護条例を制定しています。

①公文書の開示請求などの状況(H21.3.31現在)

請求を受けた機関	請求件数	公開・非公開などの内訳		
		公開	部分公開	非公開
市長	19	14	3	2
教育委員会	2	1	-	1
議会	1	-	-	1
合計	22	15	3	4

※情報公開に関する相談や公文書の閲覧などに応じるため、市役所3階に閲覧室を設けています。閲覧を希望される人は総務課までお問い合わせください。

②個人情報ファイルの届出件数及び自己情報開示等請求件数(H21.3.31現在)

実施機関区分	ファイルの届出件数	開示請求件数	公開・非公開決定などの内訳	
			公開	非公開
市長	249	1	-	1
教育委員会	26	1	-	1
選挙管理委員会	2	-	-	-
監査委員	1	-	-	-
公平委員会	1	-	-	-
農業委員会	5	-	-	-
水道事業管理者	6	-	-	-
病院管理者	4	-	-	-
議会	2	-	-	-
合計	296	2	-	2

※個人情報ファイルの届出件数とは、各課において個人情報を扱っている文書の届出件数のことです。

安心・安全な毎日のために

庄原警察署 80824-72-0110



悪質な訪問販売に注意

昨年、庄原警察署では悪質な竿竹の訪問販売業者を検挙していますが、この種の悪質な訪問販売業者がまたやってくるかもしれません。

悪質な訪問販売から消費者を守るため、「特定商取引に関する法律」「広島県迷惑防止条例」があります。

例えば、「特定商取引に関する法律」で、訪問販売業者に対しては

○守る事項として、「申し込みや契約時の書面の交付」(業者の名称、住所、電話番号、商品の名称、数量、値段、支払時期や方法、クーリングオフに関する事項などを記載した書面)

○禁止行為として、「うそを告げる」「わざと事実を告げない」「脅して困惑させる」等

などが定められており、違反すると処罰されます。

また、広島県迷惑防止条例では、いわゆる押し売りを禁止しています。



悪質な訪問販売被害に遭わないために

● 必要のない物や労務の提供などは、あいまいな返事はせず、きっぱりと断る。

● 依頼や承諾をしていないのに、業者が勝手にしたことにはお金を払わない。

● 一人で断ることが難しければ、近所や警察に連絡して複数で対応する。

※悪質な訪問販売業者と思われる者がきたら、すぐに110番通報や警察に相談をしてください。



身近な犯罪発生状況(庄原警察署管内)

各年5月末現在(単位:件)

年	乗物盗	街頭犯罪	侵入窃盗	その他	合計
平成19年	4	13	9	48	74
平成20年	4	22	9	42	77
平成21年	1	19	6	30	56

※街頭犯罪とは、路上強盗、ひったくり、恐喝、車上ねらい、自動販売機ねらい、器物損壊

宝くじ助成金で地域づくり

(財)自治総合センターは、宝くじの普及広報とコミュニティの健全な発展を目的として、地域のコミュニティ活動に必要な施設や備品などの整備に対して助成を行っています。

各団体からの申請は庄原市で取りまとめ、(財)自治総合センターへ提出

します。申請の受け付けは9月中旬ころの予定です。希望される団体は自治振興課または各支所地域振興室へお問い合わせください。なお、今年募集する事業は平成22年度に実施する事業が対象となります。

●助成対象団体
自治振興区・自治会など地域コミュニティ団体

●助成対象事業

一般コミュニティ助成事業	公衆便所・除雪機・トレーニング用具・防犯灯・太鼓・法被・テント・スポーツ用具・コミュニティ公園・広場整備・点訳機など
緑化推進コミュニティ助成事業	広場・公園・運動場・児童遊園等コミュニティ施設またはその周辺における植栽に必要な苗木・種子・用具など
自主防災組織育成助成事業	携帯用無線機・可搬式動力ポンプ・救命ボート・エンジンカッター・給水タンク・リヤカー・模擬消火訓練装置など
コミュニティセンター助成事業	児童室・トレーニングルーム・図書室・サークル活動準備室・シャワー室・多目的ルームなどを備えた多目的な総合施設
青少年健全育成助成事業	講演会・研修会の開催・コミュニティリーダーの養成・研修・各種スポーツレクリエーション大会の開催・野外活動の実施など

●助成額(一件につき10万円単位の補助とします。)

一般コミュニティ助成事業	100万円以上250万円以内
緑化推進コミュニティ助成事業	50万円以上200万円以内
自主防災組織育成助成事業	30万円以上200万円以内
コミュニティセンター助成事業	対象経費の3/5以内に該当する額。ただし、1,500万円を限度とする。
青少年健全育成助成事業	30万円以上100万円以内

問い合わせ

自治振興課自治振興係 ☎80824-73-1209

総務課危機管理係 ☎80824-72-1123(自主防災組織育成助成事業)

ご存知ですか？ 保険料免除制度

保健医療課国保年金係

☎0824-73-1158

三次社会保険事務所

☎0824-62-3107

保険料の納付が困難なときは

平成21年度の国民年金保険料は月額1万4660円です。

所得が少ないなど、保険料を納めることが経済的に困難な場合には、本人の申請によって保険料の納付が免除または猶予される制度があります。

保険料を納めることが困難だからといって、未納のまま放置すると、将来の老齢基礎年金や、いざというときの障害基礎年金、遺族基礎年金を受け取ることができない場合があります。

保険料を納めることが困難な場合は放置せず、お気軽に保健医療課または三次社会保険事務所へご相談ください。

保険料免除制度

保険料免除制度には、下記一覧のとおり5種類の区分があります。

保健医療課または各支所市民生活室に申請し、社会保険事務所で審査・承認を受けると、後日ながきで結果が通知されます。この審査は前年中の所得をもとに行われるため、免除または猶予される期間は、前年中の所得の証明が確定した後の7月から翌年6月までとなっています。

現在、免除または猶予されている方も引き続き審査を希望される場合は、7月以降に改めて申請が必要です。(継続審査対象者は除く)

※失業・災害などの特別な理由により免除を希望される方については、特例措置があります。詳しくはお問い合わせください。

免除申請に必要なもの

- 年金手帳
- 印鑑(本人が自署する場合は不要)



【保険料免除の種類】

免除の種類	保険料	所得審査対象者	審査対象者一人当たりの審査基準 (一人一人について審査し、全員が以下の金額の範囲内の所得である場合に承認されます)	老齢基礎年金の		障害基礎年金 遺族基礎年金 受給資格期間
				受給資格期間には	年金額の計算には	
①全額免除	月額0円	申請者本人 配偶者 世帯主	(扶養親族等の数+1)× 35万円+22万円	○入ります	○免除区分に応じた割合で算入されます	○入ります
②若年納付猶予 (20~29歳)	保険料納付を猶予します。 10年以内に追納すると通常に納付したことになります。	申請者本人 配偶者	(扶養親族等の数+1)× 35万円+22万円	○入ります	×算入されません	○入ります
③一部納付 1/4納付	月額3,670円	申請者本人 配偶者 世帯主	78万円+ 扶養親族等控除額+ 社会保険料控除額等	○入ります	○免除区分に応じた割合で算入されます	○入ります
④一部納付 半額納付	月額7,330円	申請者本人 配偶者 世帯主	118万円+ 扶養親族等控除額+ 社会保険料控除額等	○入ります	○免除区分に応じた割合で算入されます	○入ります
⑤一部納付 3/4納付	月額11,000円	申請者本人 配偶者 世帯主	158万円+ 扶養親族等控除額+ 社会保険料控除額等	○入ります	○免除区分に応じた割合で算入されます	○入ります

注意!!

③、④、⑤の一部納付を承認された場合は、減額後の保険料を納付しないと『未納』という扱いになります



生涯学習

入館者100万人突破 庄原市総合体育館

庄原市総合体育館が5月31日、入館者100万人を突破しました。

100万人目となった竹本利典さん(西本町)には、滝口季彦市長から花束、辰川五朗教育長から記念品が贈られました。この日、健康福祉まつりへ孫と一緒に来たという竹本さんは「100万人目を告げられびつくりした。私自身この体育館の建設にも関わったのでうれしい。これからも体育館でイベントがあるときは足を運びたい」と喜んでいました。

総合体育館は平成5年7月にオープンし、庄原市のスポーツの拠点



竹本さん(中央)と孫の橋本航季くん(右)、眞季くん(左)

健康課
保健医療

健康チエックに行列 笑顔いっぱい！健康福祉まつり

毎年恒例となった「健康福祉まつり」を5月31日、庄原市保健センター・総合体育館周辺を主会場に開催し、約3000人の来場者でにぎわいました。

健康や福祉に対する意識を高めようと、市内で活躍する54団体が参加。元気いっぱいステージ発表や

展示、各種スポーツ大会などが行われました。肩こり・腰痛の原因といわれる骨盤のゆがみを整える体験コーナーや、血管年齢・骨密度測定などの健康チエックコーナーは、行列がでさるほどの人気で、市民の皆さんは健康への意識を高めたり、生活習慣を見つめ直したりしていました。



骨盤のゆがみを整える無料体験コーナー



子どもたちに人気のピエロのステージ

健康課
保健医療

地域医療の充実に向け連携強化 庄原市の地域医療を考える会

地域医療の充実を図るため、庄原市医師会、庄原赤十字病院、庄原市の三者で「庄原市の地域医療を考える会」を設立しました。

ために私たち住民として、今、何ができるのか」について話しました。

6月21日に庄原グランドホテルで開かれた発会式では、設立趣意書の披露や、兵庫県の「西脇小児医療を守る会」の村井さおりさんによる記念講演が行われました。



「庄原市の地域医療を考える会」発会式

工 業 商 光

観光公社設立へ準備室

感動！観光振興プロジェクト

市は、観光振興で地域経済の持続的な発展を目指すため、観光振興の専門組織「観光公社(仮称)」の設立に向け準備を進めます。

が連携したイベントおよび観光事業の開発と実施、④地域資源を生かした旅行の企画開発などの業務を実施しながら、平成23年の公社化を目指します。

国のふるさと雇用再生特別交付金事業(10/10補助)の3年事業を活用し、全域的な観光事業の構築と、

観光公社(仮称)の設立業務を庄原市観光協会連合会に委託。連合会では7月末までに職員5人を雇用し、設立準備室を設置します。

準備室では、①来年に予定している「さとやま体験博(仮称)」の企画と実施、②観光客・ツアー誘致のための観光宣伝活動、③各地域の観光協会と観光関連事業者



準備室が入る交流サロンラッキー

涯 習 生 学

アスリートから直接指導

庄原市レベルアップスポーツ教室

庄原市レベルアップスポーツ教室を6月13日、上野総合公園陸上競技場で開催しました。

これは、トップアスリートなどを招き、スポーツ技術や指導力の向上、体を動かすことの楽しさを知ってもらおうと企画しました。

昨年に引き続き2回目となる陸上競技教室に、市内小学生67人と陸上競技指導者2人が参加。元中国電力陸上競技部の内富恭則さんから指導者から陸上競技の基本動作などを学びました。

友だちと参加した伊藤まど

かさん(高野小5年)は「初めてスターティングブロックを使った。講師の先生がよく話をしてくれて楽しかった。来年も参加したい」と話していました。

本年度は10月にバレーボール教室、1月にスキー教室を実施する予定です。

平成20年度の自治振興区活動をまとめた「自治振興関係事業活動報告集」を作成しました。

治 課 自 振 興

地域づくりのヒントが見える 自治振興区活動報告集を発行

各自治振興区が地域課題の解決や夢の実現に向けて取り組んだ事例を紹介するとともに、各種補助金の活用事例やシンポジウムの内容

など、これからの地域づくりを考える資料となる一冊です。

この報告集は、市ホームページのほか、市役所または各支所などでも閲覧できます。また、希望者には1部500円で販売しています。



A4版 40ページの報告集



真剣な表情で指導を受ける子どもたち

各地で行われたイベント&話題をお届けします。

REPORT ①

夏山シーズン到来 吾妻山山開き

6月7日、吾妻山池の原で「吾妻山山開き」が行われました。比婆山に眠るイザナミノミコトへ夏山登山の安全を祈願する神事式のあと、比和牛供養田植えの植拍子が原曲となった「県民謡バイ流し」や「比和音頭」などが披露されました。比婆牛ももの丸焼きや特産品の各種バザーコーナーが立ち並ぶ会場では、子どもから高齢者まで幅広い年代が地域住民との交流を深めながら、登山やハイキングを楽しみました。吾妻山は高山植物の宝庫と呼ばれ、初夏はタニウツギやレンゲツツジが咲き乱れ、山頂からはパノラマで自然の美しさを楽しむことができます。



▲県民謡バイ流し

神楽や太鼓で山開きを祝う 比婆山・道後山

REPORT ②



▲道後山山開き

西城町の比婆山、道後山で山開きが開催され、本格的な夏山シーズンが到来しました。5月31日に竜王山山頂近くの駐車場で開催された比婆山山開きでは、夏山登山の安全祈願の後、西城川太鼓の演奏や田植踊り、比婆荒神神楽が上演され、登山客から拍手と歓声飛び交いました。

会場では、地元自治振興区「神話の里熊野むらづくり推進協議会」のメンバーが、比婆牛のバーベキューや地元で養殖したゴギの塩焼きなどを販売し、登山客らは初夏のすがすがしい晴天の下、地元の特産品に舌鼓を打ちました。

また、6月21日には道後山山開き・つつじ祭りが開催され、その名のおり月見が丘周辺で満開を迎えた赤いツツジやピンクのタニウツギが訪れた登山客を魅了しました。



▲比婆山山開きの神楽

REPORT ③

子どものがんばる姿に大声援 総領小学校運動会

総領小学校の運動会が5月24日、「スマイル ファイター」をテーマに開催されました。

小雨が降る中、児童96人の力強い入場行進で開幕。子どもたちは班ごとに「全力を出し切る」「応援をがんばる」などの目標を立てて、各種目で練習の成果を発揮しました。

3・4年生が踊る「よさこいソーラン」や、5・6年生が演技する「組体操」は総領小学校の伝統的な種目。組体操が成功するたびに大きな拍手が起こりました。保護者は「ゴールを目指して一生懸命走る姿や最後まであきらめない姿に感動した」と子どもの成長を喜んでいました。

近年、小学校の運動会は春の開催が増え、市内21校中17校が5月17日～6月7日に実施しました。



▲竹の棒を持ってリレーする「台風の日」



ぐるり庄原 Look Around Shobara Camera Report カメラレポート

REPORT ④

「敦盛さん」絵はがき発行 市無形民俗文化財指定50年記念

庄原市無形民俗文化財に指定されて今年で50周年を迎える民謡「敦盛さん」を記念して、「敦盛さん」保存会(児玉節会長)が絵はがきを発行しました。

絵はがきには歌詞と舞台写真が入り、平敦盛が玉織姫との出会いから、一ノ谷の合戦で熊谷次郎直実に討たれるまでの場面と、玉織姫が源氏の追っ手から逃れ、永江の里(庄原)に落ち延びた場面が描かれています。2枚1セット300円で300セットを限定販売しています。企画した清水季子さんは「絵はがきを使用してもらうことにより、舞台を観たことがない方にも郷土の伝統芸能を知っていただき、庄原市をPRしていきたい」と話しています。

「敦盛さん」保存会は3年前に再結成し、毎月第2・第4土曜日に練習に励み、庄原よいとこ祭や庄原市民俗芸能大会、県民文化祭などで上演しています。

絵はがきの購入については、事務局(栗原 ☎0824-72-3566)まで。



▲歌詞と舞台写真が入った絵はがき

和太鼓とインド楽器の共演 太鼓ライブTOJO

REPORT ⑤



▲タブラ・シタールと鬼神太鼓の共演

鬼神太鼓と東城町観光振興キャンペーン実行委員会が6月6日、東城町老人福祉センターで「太鼓ライブTOJO」を開催しました。

子どもたちの息の合った和太鼓演奏を披露した広島市の「宇品みなと太鼓」をはじめ、口和町の「口和備神太鼓」、東城町の「鬼神太鼓」や「ひばん婆太鼓」が力強いばちさばきを披露しました。

インド楽器のタブラ・シタールの演奏では、観客と一緒に手拍子でリズムを刻む場面もあり、会場内が一体となって盛り上がりました。尺八・ドラム・ギター・ボーカルなどとの共演もあり、観客は和太鼓の新たな魅力を感じていました。

3回目の今年は、チャリティーコンサートということで入場料の一部を福祉のために寄付されました。

REPORT ⑥

子どもたちの記録更新を支援 上野総合公園「アスリート教室」

上野総合公園のアスリート教室が5月26日から始まりました。この教室は、庄原市陸上競技協会に所属する地元アスリートが指導。豊かな経験と技術を伝えることにより、子どもたちの記録更新や体力向上を目指しています。

初日は、「もっと早く走れるようになりたい」と小中学生約60人が参加。短距離走や走り幅飛びなど、自分がやりたい種目に分かれて汗を流しました。松森稜くん(庄原小5年)は「走る姿勢を教わり勉強になった。秋には100mを17秒ぐらいで走りたい」と目を輝かせていました。

企画した恵木剋行所長は「今年は県民体育大会が上野総合公園で開催されるので、その大会に向けて子どもたちの記録を伸ばしていきたい。庄原市はボストンマラソンで優勝した田中繁喜さんをはじめ多くのトップアスリートを輩出し、陸上王国と呼ばれてきた歴史



▲障害物を置いて走る姿勢を学ぶ

がある。ここから世界で活躍するアスリートが出てきてほしい」と話していました。

この教室は、10月6日まで隔週火曜日の17時30分～19時30分で行われます。

申し込みは上野総合公園(☎0824-72-7201)まで。

REPORT ⑦

絵本の楽しさを親子が体験
高野地区民児協がブックスタート

高野地区民生児童委員協議会児童部が5月29日、高野福祉保健センターで行われた「乳児相談」で、ブックスタートを行いました。

ブックスタートは、赤ちゃんの健やかな成長を願い、絵本を開く体験と一緒に、絵本を手渡す活動。絵本をただ配るだけでなく、絵本を開く時間の楽しさを体験してもらうことが特徴です。

民生児童委員と子育て推進委員は、手作りした布袋に絵本を入れ、参加した3組の親子に手渡しました。絵本を広げると、赤ちゃんは絵をじっと見つめたり、絵本を読む子育て推進委員の声に耳を澄ませたり、絵本を楽しんでいました。子育て推進委員の坂口薫さんは「家庭でも絵本を通して楽しいひと時を過ごしてください。また、地域全体で子育てを応援しているので、何かあったら一人で悩まずいつでも相談してください」と話していました。



▲絵本を楽しむ親子

小さな手に小さなお茶碗
西城子育て支援センターお茶会

REPORT ⑧

6月9日、西城子育て支援センター美古登子育て支援施設で、親子と一緒に楽しむお茶会が開かれました。

このお茶会は、お茶会の雰囲気や、抹茶の風味を楽しんでもらおうと企画し、今回が2回目。この日は、地域の子育て推進委員や0歳から2歳の子ども5人と保護者が参加しました。小さな手に合うように少し小さめに作られた茶碗が用意され、子どもたちは職員から簡単に作法について説明を聞いた後、配られたお菓子をほおぼり、職員や保護者が交代で立てた抹茶を「おいしい」と飲みほしていました。

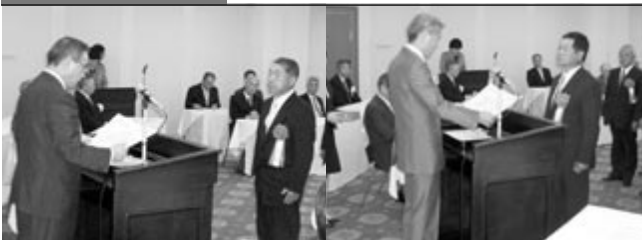
西城子育て支援センターでは、毎月子どもと保護者、地域の方々が集える子育て応援事業を開催しています。子育てコーディネーターの道上直美さんは「子育てについての情報交換や子ども同士保護者同士の友だち



▲手に手を添えてお茶をいただく参加者

づくり、子育てに関する相談にお気軽にお越しください」と話していました。

REPORT ⑨

地道な防犯活動が認められる
高野町の個人・団体が県表彰

表彰を受ける会長の長瀬さん(左)・林さん(右)

(社)広島県防犯連合会の功労ボランティア団体に、高野町の地域安全パトロール隊「よろずクラブ」が選ばれ、5月25日に表彰されました。これは、長年の防犯活動などに尽力した団体を表彰するもので、県内各地

から14団体が受賞。庄原市からの受賞は平成18年度の庄原地区女性連合会本町支部以来で、高野町からの受賞は初めてになります。よろずクラブは、山林や田畑などへ放置してあった廃車を、スクラップ業者と連携して約220台を撤去したのを始め、メンバーが交代で高齢者宅の訪問活動、子ども見守り活動、高齢者に対するミニ防犯教室などを行っています。

代表の長瀬裕壮さんは「会員の皆さんの協力のおかげで受賞できた。これを励みにして、これからも活動がんばりたい」と喜びました。また、林廣実さん(高野町)が30年間にわたり地域防犯活動に貢献したとして防犯功労者表彰を受賞しました。



REPORT 10

庄原市の味を映画館でPR 食と農の映画祭に参加

庄原市のまちづくり団体「さいたら研究会」が5月24日、広島市の映画館サロンシネマで開催された「食と農の映画祭inひろしま」に参加し、自分たちの経験に映像を交え、庄原市の食や農の現状について発表しました。

早乙女姿で登場した出演者は、ユーモアたっぷりのパフォーマンスで会場を盛り上げ、庄原の良いところをPRしました。また、山菜や野菜を直売したほか、「すくもくど」で炊いたご飯や、「さくら寿司」をふるまったり、漬物や野草茶などを「食べてみんな」と勧めたり、庄原の味を紹介。野菜を購入した方は「食への関心を高めたうえで、こういった商品が手に入るのは素晴らしい」と大絶賛でした。

「さいたら研究会」は、市内の女性を中心に井戸端会



▲持参した商品はどれも大人気で完売しました。

議で地域づくりのアイデアを出し合い実践しています。この活動へのお問い合わせは自治振興課(☎0824-73-1209)まで。

緊急事態に備え救命講習 東城方面隊水防訓練

REPORT 11



▲心肺蘇生法を学ぶ団員

庄原市消防団東城方面隊第一分団は6月2日、水防訓練の一環として心肺蘇生法・AED(自動体外式除細動器)を使用した救急救命講習を行いました。

東城消防署員が、一刻も早く救命処置をすることの意味や、AEDの使用法などを説明。団員36人は講習用の人形に電極をつけAEDを作動させたり、心臓マッサージをしたり実習を行いました。

松浦久夫分団長は「全団員がいつ、いかなる所でも起こりうる人命の緊急事態に直面したとき、慌てることなく率先して確実に対応できるように、一人一人のスキルアップを目指し、住民の安心・安全に役立てていきたい」と話していました。

REPORT 12

キャラクターで地域をPR 金田自治会が作製

口和町の金田自治会がキャラクターを作製し、地域づくりを盛り上げています。

キャラクターを描いたのは、金田地区にゆかりのある似顔絵作家いぬづかてつやさん(大阪在住)。稲穂を持った侍「金田ちゃん」と、その妹として「さくらちゃん」を創りました。このキャラクターを自治振興区のシンボルにして地域をPRしようと、キャラクター付きのTシャツなどを作製。6月14日に開催された口和体育祭では、このTシャツをユニフォームにして、地域が一丸となって奮闘しました。

その他、金田自治会では、住民の誰もが楽しめるグラウンドゴルフ場と公園を整備。平成18年に完成した「金田さくら公園21」は、口和のイベント広場として多くの人が楽しんでいます。



▲「金田ちゃん」を背に、口和体育祭で奮闘。



◀金田地域を盛り上げる「金田ちゃん(左)」と「さくらちゃん(右)」



「笑」いで幸せ! 「笑」顔で元気! 「しあわせを感じられる生活を送ろう!」



高野支所市民生活室
たわ けい こ 子 保健師

「笑う門には福来たる」が健康面でも注目されています。
「笑いが健康にとってもいい」という話は、皆さんもきつとどこかで聞いたことがあると思います。
楽しみや生きがいを持って生活すると自然と笑顔が多くなりますが、庄原市では、楽しみや生きがいのある人が72・8%、ない人が11・4%(平成18年度庄原市健康に関する市民意識調査)という結果がでています。
そこで今回は、「笑い」の効果を紹介します。毎日の生活に少しでも楽しみやしあわせを感じることで、健康のステップアップをしてみませんか。

笑いの意外な効果

- ① 自律神経のバランスを整える
- ② 免疫力を正常に維持する
高すぎる人は下がり、低すぎる人は上がり正常値に近づきます。
- ③ ストレスを和らげてリラックス
笑うと脳からアルファ波が出て、体がリラックスした状態を保ちます。ストレスが多い時、笑うことでストレスが解消されます。
- ④ 美容に効果的
顔の表情筋を積極的に使うことで、筋肉の老化を遅らせ若さを保ちます。
- ⑤ 血糖値を抑える



笑顔をレッスン

つくり笑いだけでも笑いの健康効果が得られると言われています。鏡を見て笑顔の練習をしましょう。唇の端が左右対称に上がる事が大切です。目が上手に笑えれば脳を刺激し、健康効果が高まります。

ステップ①

笑いで健康になろう
笑うと副交感神経の働きが活発化。心臓や呼吸、血圧などの動きが緩やかになり心身にリラックスします。緊張の多い人ほど笑いが必要です。

ステップ②

笑って楽しい気分になろう
笑顔は相手に敵ではないことを知らせる人類共通のサインで、周囲を安心させます。また、笑顔を作ると顔の表情筋の働きが脳に伝えられ「楽しい・うれしい」気持ちかわいてきます。まずは、家庭で、職場で、そして地域で、笑顔であいさつをすることから始めてみませんか。「健康に・幸せに」今日から笑顔と微笑みを大切にしましょう。



笑顔あふれる介護予防事業(高野地区)

生活相談

身体障害者補装具判定会

〔肢体〕 7月16日(木)
受付13時～14時

ところ 北部保健所

※1週間前までに社会福祉課障害者福祉係へ予約を。

☎0824-73-1210

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

●庄原地域

とき 7月28日(火)

8月11日(火)

13時30分～16時30分

ところ

庄原市ふれあいセンター

●東城地域

とき 8月6日(木)

13時30分～16時30分

ところ

東城ふれあいセンター

●総領地域

とき 8月10日(月)

9時～11時

ところ

総領健康福祉センター

問い合わせ

三次人権擁護委員協議会

☎0824-62-2572

定期巡回児童相談

北部こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。

●庄原地域

とき 7月16日(木)

10時～15時

ところ

庄原市ふれあいセンター

※1週間前までに女性児童課子育て支援係へ予約を。

☎0824-73-0051

●東城地域

とき 8月28日(金)

10時～15時

ところ 東城支所

※2週間前までに東城支所保健福祉室へ予約を。

☎08477-2-5131

障害者相談員定期相談会

●庄原地域

身体 8月10日(月)

13時30分～16時30分

知的 8月11日(火)

13時30分～16時30分

ところ

庄原市ふれあいセンター

●比和地域

身体・知的 8月4日(火)

9時30分～12時

ところ 比和自治振興会館

※事前予約もできます。

問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係

☎0824-73-1210

無料登記相談所

司法書士などによる「無料登記相談所」を、毎月第2木曜日に開設します。

登記申請手続きなど、登記に関することなら、何でもお気軽にご相談ください。

とき 8月13日(木)

10時～12時 13時～15時

ところ

庄原市ふれあいセンター

問い合わせ

広島法務局民事行政調査官室

☎082-2228-5690

催し

人権啓発パネル展

「ホロコースト」を知っていますか?

「ユダヤ人に生まれた」というただそれだけの理由で、

夢と希望をもっていた子どもたち150万人が殺されました。

この機会になぜこのような悲劇がおきたのか考えてみましょう。

子どもたちが見た

ホロコースト展

とき

7月30日(木)～8月6日(木)

8時30分～17時30分

ところ

庄原市役所 市民ホール

社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

庄原市においても、推進大会や街頭啓発などの運動を展開します。

とき 7月24日(金)

13時30分～15時

ところ

庄原市ふれあいセンター

内容

○法務大臣メッセージの伝達

○講演「犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくり」

○街頭での啓発活動

問い合わせ

市民生活課生活安全係

☎0824-73-1154

自治振興区活動報告会

平成20年度に自治振興区活動促進補助金を利用し、特色ある地域づくりを行った自治振興区の成果を発表する『庄原市自治振興区活動報告会』を開催します。各地域の代表者による発表のほか、会場内には各自治振興区が活動内容をまとめたポスターを掲示します。地域づくりのヒントが満載です。

とき 7月25日(土)

13時30分

ところ

口和文化ホール

(ヒューマンライツ)

問い合わせ

自治振興課

☎0824-73-1209

子どもみこしを先頭に、

新市商店街を練り歩く七夕行列や、約250発の納涼花火大会が見どころ。金魚すくいなど、懐かしい祭りが楽しめます。

とき 8月1日(土)19時

ところ

高野町新市ふれあい広場

問い合わせ

備北商工会高野支所

☎0824-86-2011

口和郷土資料館映画上映会

山田洋次監督、吉永小百合主演で昨年公開された、話題の映画「母べえ」を県北で初めて上映します。家族の絆と家族を支える母の強さを描いた作品で、入場は無料です。ぜひご覧ください。
 とき 7月19日(日)
 13時30分

ところ 口和郷土資料館
 問い合わせ

口和郷土資料館(月・木・土)
 ☎0824-87-2230
 口和支所教育室教育係
 ☎0824-87-2115

自作真空管アンプ聴き比べの会

今回で3回目となる真空管アンプの聴き比べ会を行います。手作りの真空管アンプによるアナログレコードなどの音楽鑑賞で、癒しのひとときをお過ごしください。
 とき 7月25日(土)
 10時~16時
 ところ 口和郷土資料館
 問い合わせ

口和郷土資料館(月・木・土)
 ☎0824-87-2230

時悠館公開講座

江戸時代の街道の坂や峠

に見られる石畳の発掘調査を中心にした道の舗装の歴史について講演します。
 とき 7月11日(土)
 14時~15時30分
 ところ 時悠館研修室
 講師 中越利夫 時悠館所長
 演題 「道の話ーちよつとむかしの峠の石畳ー」
 問い合わせ 時悠館
 ☎08477-6-0161

募 集

第10回ひろしまクロスカントリー大会

標高700以上の「道後山高原クロカンパーク」で行われるクロスカントリー大会。爽快感あふれる芝生コースで行われるレースに、あなたも挑戦してみませんか。
 会場内の販売ブースでは、地元特産品などの販売もあります。
 とき 8月22日(土)
 ところ 道後山高原クロカンパーク

種目 1キ(ファミリーの部)、

1・5キ(チーム対抗競技も兼ねる)、3キ、5キ、8キ
参加料
 小学生以下 500円
 中学生・高校生 1000円
 一般 2000円
申込締切
 申込書で7月21日(火)まで
 (当日消印有効)
申込書請求・問い合わせ
 ひろしまクロスカントリー大会事務局(西城教育室内)
 ☎0824-82-2445
 FAX 0824-82-2811

放送大学学生募集

平成21年度第2学期(10月入学)の学生を募集しています。
 放送大学は、入学試験のない国内最大の通信制大学で、自ら「学び」を楽しむ方々を応援します。
 約300科目の中から学びたい科目だけ学べ、授業料の負担も少なく、CSデジタル放送「スカイパーフェクTV!」、広島学習センター「庄原教室」や自宅で、マイペースに学ぶことができます。また、4年以上在学し卒業すれば、国公立大学

同様の「学士(教養)」の学位を取得できます。
出願書類は市民会館および公民館などに備えています。
 期間は8月31日(学園本部必着)まで。インターネットによる出願もできます。
 放送大学ホームページ
<http://www.u-air.ac.jp/>からアクセスしてください。
 7月18日(土)は、13時30分から体験入学を庄原市民会館で実施します。
問い合わせ
 生涯学習課社会教育係
 ☎0824-73-1188

消防職員採用試験

備北地区消防組合は、次のとおり消防職員を募集します。
募集人員 若干名
受験資格
 昭和60年4月2日~平成4年4月1日までに生まれた人
受付期間
 8月3日(月)~21日(金)
試験日(第1次試験)
 9月20日(日)
試験場所(第1次試験)
 三次市福祉保健センター
申し込み・問い合わせ
 備北地区消防組合
 消防本部総務課

七塚原自然探検キャンプ

キャンプ生活を通して生きる力を養い、共に助け合うことの大切さや自然との共生、野外生活の知恵を学びます。
とき
 8月7日(金)~8月13日(木)
 6泊7日
ところ
 高原の家七塚

内容
 野外炊飯、自然観察、登山など
対象
 小学校3年生~6年生の児童50人
参加費 8000円
申し込み 7月20日(月)までに、郵送・FAXで高原の家七塚へ。
問い合わせ
 高原の家七塚
 ☎0824-75-2033
 FAX 0824-74-0827

比婆山神話めぐりと護符の水

伊邪那美命にゆかりのある「千引岩」やブナ林から湧き出た「護符の水」など、地

元越^{おつぼら}原地域の皆さんの案内で、比婆山から吾妻山までを縦走し、比婆山神話の霊域にある史跡を訪ねます。

とき 8月2日(日)

9時15分～16時

集合場所

休暇村吾妻山口ロッジ

定員 30人

参加費 1500円

問い合わせ

休暇村吾妻山口ロッジ

☎0824-851-2331

その他

【国保保険証を更新します】

現在お使いの国民健康保険の保険証は、平成21年7月31日で有効期限が切れます。新しい保険証を7月末に郵送しますので、8月1日以降に医療機関などで受診する際は、新しい保険証をお使いください。なお、有効期限の切れた保険証は破棄してください。

問い合わせ

保健医療課国保年金係

☎0824-731-1158

または各支所市民生活室

申請もれはありませんか？ 障害者手当

●特別障害者手当

対象

精神または身体に著しく重度の障害があるために、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある20歳以上の人。(審査あり)

支給額

月額26,440円

(原爆介護手当との支給調整あり)

※施設へ入所または3カ月以上入院した場合は、資格が喪失します。(この場合、必ず資格喪失届を提出してください)

●障害児福祉手当

対象

精神または身体に重度の障害があるために、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある20歳未満の人。(年金受給者は対象外)

支給額

月額14,380円

※施設に入所した場合は、資格が喪失します。(この場合、必ず資格喪失届を提出してください)

支給月

いずれの手当も2・5・8・

11月に前3カ月分の手当を支給。

手続きに必要なもの

診断書(指定の用紙)、印鑑、所得状況届および年金・恩給支給額の確認書類、振込先通帳など。

手続き・問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係

☎0824-731-1210

各支所保健福祉室または市民生活室

制度の趣旨を踏まえた利用を 中小企業融資制度

市は、中小企業の資金運営の円滑化を図るために、金融機関・広島県信用保証協会と協力して、従来から「庄原市中小企業資金融資制度」、「庄原市中小企業融資資金信用保証料補助金」を設けています。また、4月から「庄原市中小企業融資利子補給補助金」を新設し、多くの中小企業にご利用いただいています。

中小企業に有利な制度ですが、予算の限りもあることから、本年度当初予算で予定していた預託金1.5億円はすでに不足することになり、補正予算で新たに預託金1.97億円を追加

することにしました。

当制度の趣旨を踏まえたご利用をお願いします。

お問い合わせ

商工観光課商工観光係

☎0824-731-1179

バスの車内事故防止に協力を

走行中のバス車内での事故を防止するため、「車内事故防止キャンペーン」が7月1日から31日まで実施されています。

走行中に席を離れると、転倒などと思わぬけがをすることがあります。お降りの際は、バスが停留所に着いて完全に止まってから席を立つようにしましょう。

バスは、安全運転を心がけていますが、やむを得ず急ブレーキをかける場合があります。満席などで立つてご利用いただく場合は、つり革や握り棒にしっかりとつかまってください。

問い合わせ

中国運輸局広島運輸支局

☎082-233-9166

(社)広島県バス協会

☎082-261-3238

手のひらに、明日をのせて。

NTT docomo

あしたにつながる

検索

2009年7月のエリア拡大・品質向上予定地区

東城町三坂周辺、
東城町帝釈宇山周辺



あしたにつながる
品質レポート

広告

庄原市で

つながることに、
こだわるドコモ。

※エリア拡大・品質向上予定は変更となる場合があります。

※FOMAは無線を使用しているため、サービスエリア内でも一部電波の届かないところでは、ご利用になれない場合があります。

平成21年度 自衛官採用試験の案内

募集種目		応募資格	受付期間	試験期日	
防衛大学校学生	推薦	高卒(見込含) ~21歳未満	9月5日~9月9日	9月26日・27日	
	一般		9月7日~10月2日	一次:11月7日・8日 二次:12月15日~19日	
防衛医科大学校学生			9月7日~10月2日	一次:10月31日・11月1日 二次:12月2日~4日	
航空学生			8月1日~9月11日	一次:9月23日 二次:10月17日~22日 三次:11月14日~12月18日	
看護学生			高卒(見込含) ~24歳未満	9月7日~10月2日	一次:10月24日 二次:11月21日・22日
一般曹候補生			18歳以上 27歳未満	8月1日~9月11日	一次:9月19日 二次:10月8日~15日
2等陸・海・空士	男子	年間通じて受付中		受付時にお知らせします	
	女子	8月1日~9月11日		9月27日・28日	

問い合わせ 自衛隊三次地域事務所 ☎0824-62-0350 総務課行政係 ☎0824-73-1123

人権啓発
映画上映会

ラストゲーム
最後の早慶戦

野球が禁じられていた太平洋戦争下の1943年10月16日、学徒出陣前に行われた早稲田と慶應義塾の両大学野球部による“最後の早慶戦”を描いた作品です。

庄原会場 日時 8月28日(金) 19:00上映開始
場所 庄原市ふれあいセンター コパリホール

入場無料

西城会場 日時 9月25日(金) 19:00上映開始
場所 ウイル西城 ウイルホール

高野会場 日時 9月4日(金) 19:30上映開始
場所 上高公民館

東城会場 日時 8月7日(金) 19:00上映開始
場所 東城町老人福祉センター

比和会場 日時 8月20日(木) 19:30上映開始
場所 比和文化会館

口和会場 日時 8月5日(水) 19:00上映開始
場所 口和文化ホールヒューマンライツ

総領会場 日時 9月16日(水) 19:00上映開始
場所 総領文化会館

問い合わせ 総務課行政係 ☎0824-73-1123

【東京への旅行が便利に】

JR高速バス津和野~東京線が7月1日から庄原インター停留所に停車することになりました。乗車券は、備北交通庄原バスセンターで販売しています。

運行時刻

庄原インター	新宿駅南口	東京駅	新木場駅
21:07発	→	7:14着	→
7:59	→	8:29着	
5:22着	←	19:10発	←
18:10	←	17:30発	

運賃(大人)

片道 10,900円 往復 19,800円
※小児は大人の半額です。また、早割りのほか、高速バスネット (<http://www.kousokubus.net/>) からクレジットカードにより購入すると運賃の割引があります。

問い合わせ

市民生活課生活安全係 ☎0824-73-1154
JRバス高速予約センター ☎0855-22-0953

広告

NOSAIの建物共済
住まいる
火災/総合
わずかな掛金で大きな補償

安心をお届けして60年



火災共済

火災・落雷などから大切な財産をまもりまします。



総合共済

火災・落雷事故に加え、自然災害まで幅広く補償します。



安心のネットワーク
NOSAI北部

〒729-6201 三次市和知町360-5 広島県北部農業共済組合
TEL:0824-66-3111 FAX:0824-66-3130

夏まつり Summer Festival 2009

7月25日(土)～8月31日(月)

備北公園管理センター
☎0824-72-7000 (<http://www.bihoku-park.go.jp/>)

備北
丘陵公園
だより



もうすぐ夏休み。宿題や自由研究に役立つ昆虫観察、ひばの里の体験イベントなど、家族で楽しめるイベントを開催します。

花の広場には、おなじみ「ひょうたんトンネル」が登場。たわなに実るヒヨウタンやヘチマの日陰はとても気持ち良いですよ。ぜひ体感してください。

「夏まつり」期間中は毎日開園します。

国土交通デーの7月18日(土)は、無料入園日です。(駐車料金は必要)

※7月25日(土)・26日(日)は、コンサート開催のため芝生広場などがご利用できません。

イベントの詳細は電話もしくは公園ホームページでお気軽にお問い合わせください。

参加募集中!
「ワイルドキャンプ開催」
備北オートビレッジで
夏の思い出作りを

8月1日(土)・2日(日)の1泊2日で小学校4年生から6年生を対象としたキャンプイベントを開催します。

自然の中で、楽しいプログラムを通して野外活動を体験することで、子どもたちの隠された可能性を引き出すきっかけ作りや、人との触れ合いを大切にする心を養うことを目的にさまざまなプログラムを実践します。

★主なプログラム

テント設営、アウトドアクッキング、キャンプファイヤー、クラフト体験など

●開催日

8月1日(土)～2日(日)
1泊2日

●募集人数

小学生4年生～6年生(30人)

●宿泊手段

テント泊
1人につき

1泊2日で8000円

(入園料・施設使用料・食料代・障害保険料を含む)

●申込開始

7月1日(水)から往復はがきによる申込開始

※応募多数の場合は、抽選になりますのでご了承ください。

●締め切り

7月17日(金)(必着)

●申し込み・問い合わせ

国営備北丘陵公園
備北オートビレッジ
ワイルドキャンプ係
☎0824-72-8800
FAX0824-72-8803
〒727-0022
庄原市上原町1300

広告

メガネの御用命は「敬ちゃん時計店」及び「メガネハウス タケダ」をご利用下さい。

12種類のレンズが選べるセット

《メガネ出来上り価格》

¥19,000



- ①スタンダードレンズ
 - ②非球面レンズ
 - ③薄型非球面レンズ
 - ④超薄型レンズ
 - ⑤ガラスレンズ
 - ⑥調光ガラスレンズ
 - ⑦くもりにくいレンズ
 - ⑧遠近両用レンズ(初めての方へ)
 - ⑨遠近両用レンズ(薄型でスッキリ)
 - ⑩遠近両用レンズ(ドライブに)
 - ⑪中近両用レンズ(デスクワークに最適)
 - ⑫近々両用レンズ(手元がワイドに)
- その他、各種価格のメガネも出来ます。

金・プラチナ買取専門ショップ

金・プラチナ
お売り下さい

宝石箱の中で眠っているリングやネックレス、デザインが古くなって使っていない貴金属、是非お持ち下さい。

宝石・メガネ・時計・補聴器・修理

〒727-0012 庄原市中本町2丁目1-3

TEL.(0824)72-0377

(株)敬ちゃん時計店

☎0120-21-7655

【営業時間/8:15～19:00 定休日/第1・第3日曜日】

メガネ・補聴器の職人技

メガネハウス タケダ

Professional shop of glasses

〒727-0013 庄原市西本町2-19-1

ジョイフル 2F

TEL.(0824)75-0037

【営業時間/午前9:30～午後7:30】

宝石・バッグ・舶来ウォッチ

ブランドショップ タケダ

【営業時間/午前9:30～午後7:30】

〒728-0013 三次市十日市東4-1-30

ショッピングセンター サンクラン2F

TEL.(0824)65-0522

【営業時間/午前9:30～午後7:30】

広告

住まいの相談所

建築工事業 許可(般-18)第1845号 公共下水道登録番号128号



新・増改築



有限会社 藤本工務店

☎(0824)72-3146

下水道及び浄化槽設置承ります

<http://www.l.ocn.ne.jp/~fujimo-k/index.html>

比和自然科学博物館

☎0824-85-3005

開館 9時～17時(年末年始休館)

ツバメ

庄原市内で観ることのできるツバメは、全部で何種類かご存知ですか？

答えは3種類です。ツバメは夏鳥で、春、東南アジアなど南の方から日本へわたってきて繁殖し、秋になるとふたたび南へ越冬のためにかえる渡り鳥です。

博物館で実際に3種類のツバメを見比べてください。

○ツバメ

総称と同じ名でよばれるツバメは、ユーラシアやアメリカで広くみられ、ツバメ類でもっとも個体数の多い種です。繁殖は北半球、越冬は南半球という、長い距離をわたる鳥です。全長約16㌘。コシアカツバメに似ていますが、のどが赤く腹は白いのので、見分けることができます。



○コシアカツバメ

全長18.5㌘。両端の尾羽は長く、背面は青味がかった黒です。腹面は薄褐色で、暗色の縦縞が入っています。



○イワツバメ

全長約14.5㌘。ツバメよりやや小さく、尾が短いのが特徴です。飛行中でも腰の白い部分が目立ち、また足には、足指の先まで白い羽毛があります。



+

休日診療のご案内

7月・8月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

7月12日(日)	牧原医院	☎0824-72-0057
19日(日)	河本医院	☎0824-75-0311
20日(月)	笠間医院	☎0824-72-0535
26日(日)	田淵医院	☎0824-72-3900
8月 2日(日)	庄原赤十字病院	☎0824-72-3111
9日(日)	藤野医院	☎0824-72-4646

●東城地域

7月12日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
19日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
20日(月)	日伝医院	☎08477-2-2180
26日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
8月 2日(日)	三上クリニック	☎08477-2-1151
9日(日)	東城病院	☎08477-2-2150



市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX

市街地の空き店舗を活用した、
各種展示ができる市民ギャラリーです。

「濱田昭法の世界」(絵画)

とき 8月9日(日)～12日(水)

10時～17時

☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453

商工観光課商工観光係 ☎0824-73-1179

※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はおりません。



食彩館しょうばら

ゆめさくら

☎0824-75-4411

【8月のイベント情報】

▶ゆめさくら講座

◎草木染め教室～綿素材のタペストリー～

とき 8月3日(月)

第1部 9時～12時

第2部 13時～15時30分

参加費 2,900円 定員 各12人

◎郷土料理教室

～米粉を使って、お盆の迎え団子3種 ほか～

とき 8月6日(木) 10時～14時

参加費 1,500円 定員 30人

▶ゆめさくら土曜夜市

楽しい歌とダンス・演奏、そして出店あり

とき 8月8日(土) 18時～21時



ふれあい市長室の日程

☎企画課広報統計係 ☎0824-73-1159

◎とき 8月8日(土) 9時～12時

◎ところ 西城支所

※公務により実施できない場合もあります。
※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、
事業担当課へお願いします。



しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

★出展者募集中! あなたのお店を開こう。

★毎月20日が出店申込締切です。

★申し込みは

交流サロンラッキー ☎0824-72-0075まで



《とき》 8月9日(日) 10時～14時

《ところ》 中本町商店街周辺
(のぼりが目印)

詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>



人の動き

平成21年5月末日現在

●住民基本台帳登録人口

人口 41,398人(前年比-607人)
 男 19,648人(前年比-253人)
 女 21,750人(前年比-354人)
 世帯数 16,077世帯(前年比-31世帯)

【各地域の内訳】

庄原地域 19,610人(7,719世帯)
 西城地域 4,355人(1,591世帯)
 東城地域 9,415人(3,821世帯)
 口和地域 2,364人(851世帯)
 高野地域 2,201人(714世帯)
 比和地域 1,758人(674世帯)
 総領地域 1,695人(707世帯)

●外国人登録人口

人口 322人(前年比-8人)



市税・水道料金・下水道使用料 納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口をお願いします。
 ※残高確認も忘れないでください。

- 税務課収納係 ☎0824-73-1145
- 下水道課管理係 ☎0824-73-1175
- 水道課業務係 ☎0824-73-1197



献血のご案内

☎保健医療課 ☎0824-73-1155

献血をつぎのとおり実施します。
 皆様のご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
7月23日(木)	ザ・ビッグ 庄原店	11時30分~15時
7月29日(水)	口和文化ホール (ヒューマンライツ) 口和保健センター	10時~11時45分 13時30分~15時

広報日記

今月の特集「婚活のススメ」は、多くの独身者がいずれ結婚したいと思っているのにしていない現状から、「結婚したい」と思っている方を応援したいと思い企画しました。もちろん「結婚=幸せ」ではありませんし、結婚に対してはさまざまな考え方があり、「プライバシーのことに干渉しないでほしい」という独身者は、特集を読んで不快な思いを持たれたかもしれません。しかし、結婚を望んでいるのにできにくい今の社会でいいのか、独身者だけでなく、みんな考える必要があると思いました。今後、庄原市で素敵な出会いが増え、幸せなカップルが多く誕生することを期待しています。(※)



犬・猫の引き取り

☎環境衛生課 ☎0824-72-1398

7月・8月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。
 なお、手続きには認印が必要ですので、持参してください。

庄原地域	毎月第1~第4火曜日 7月7日・14日・21日・28日 8月4日・11日・18日・25日	11:00~11:10 東自治振興センター 11:25~11:35 市役所車庫 11:50~12:00 敷信自治振興センター
西城地域	毎月第1・第3木曜日 7月16日、8月6日・20日	9:00~ 9:10 西城支所前
東城地域	毎月第1・第3木曜日 7月16日、8月6日・20日	9:40~ 9:50 小奴可研修センター 10:20~10:30 東城文化会館
口和地域	毎月第4木曜日 7月23日、8月27日	11:40~11:50 口和支所前駐車場
高野地域	毎月第4木曜日 7月23日、8月27日	13:20~13:30 高野支所横
比和地域	毎月第4木曜日 7月23日、8月27日	13:50~14:00 比和支所
総領地域	毎月第2水曜日 7月8日、8月12日	9:40~ 9:50 総領支所 (スクールバス駐車場)



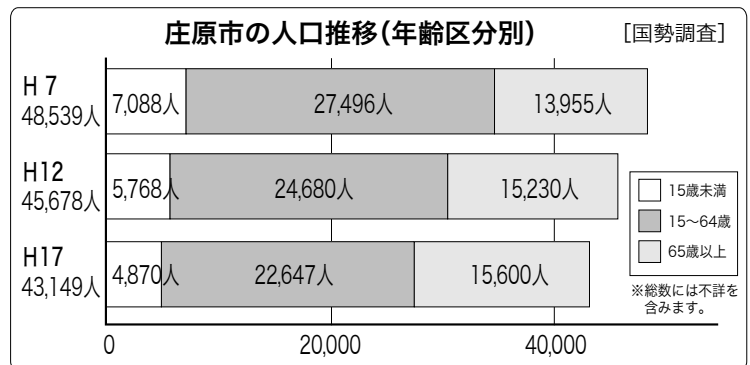
男女共同参画コーナー

女性児童課 ☎0824-73-1243

庄原市の生産年齢人口は？

庄原市の15~64歳の人口(生産年齢人口)は、総人口の何%でしょうか？(平成17年国勢調査)

A 36.2% B 52.5% C 64.6%



庄原市では、人口減少とともに年々生産年齢人口も減少しています。性別・年齢・国籍に関わらず、みんなが担い手となって地域を輝かせていきましょう。

正解 B 52.5%

配偶者・パートナーからの

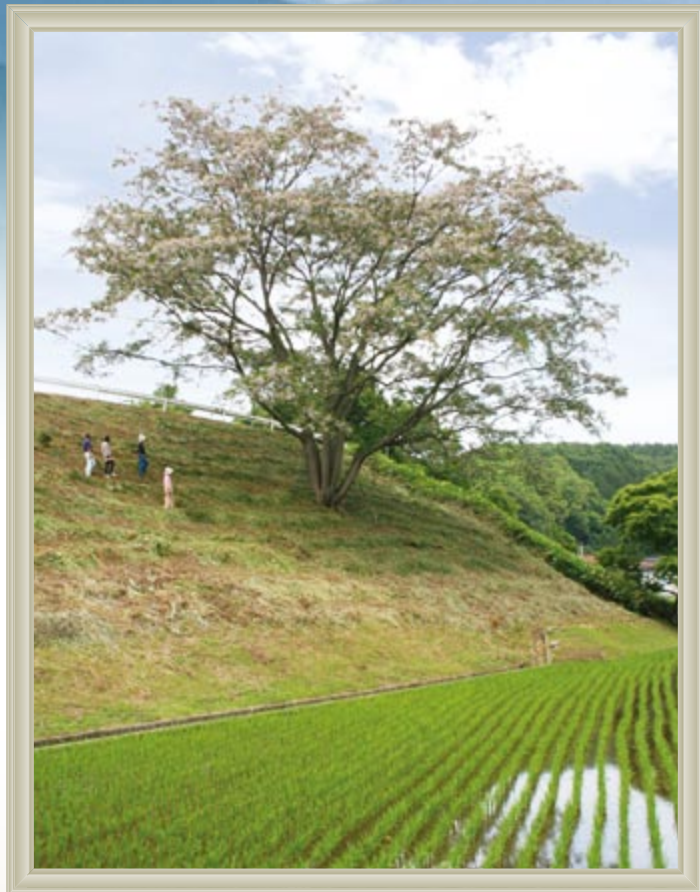
暴力で悩んでいませんか

~あなたは“ひとり”じゃない~

広島県西部子ども家庭センター 女性相談課
 (配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所) ☎082-254-0391

広島県北部子ども家庭センター 相談援助課
 (配偶者暴力相談支援センター) ☎0824-63-5181(内線2313)

庄原市役所 女性児童課 ☎0824-73-1243



(平成21年6月8日撮影)

Vol.2
実留^{さねどめ}
下谷^{しもだに}
のセンダン

しようばら
百景
 SHOBARA
 HYAKKEI

この写真は、庄原市街地から三良坂町へ抜ける県道三次庄原線と県道実留春田線の交差点付近にある巨大なセンダンの木です。
 根回り約4丈、高さ約20丈の大きさと、地上約60丈の位置で幹が7本に分かれた樹形の珍しさから、今年3月、市の天然記念物に指定されました。地元でも大切に見守りたいと、6月7日には下谷自治会が周辺の草刈りをしました。
 5月下旬から6月中旬にかけて、美しい薄紫色の花をつけ、甘い香りと一緒に初夏のすがすがしさを感じさせてくれます。この風景を写真におさめようと、最近は多くのカメラマンが来られるようになりました。冬枯れが進む中、鮮やかな黄色の実をつける晩秋の風景もおすすすめです。
 谷口澄子(実留町)

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先

〒727-8501
 庄原市中本町一丁目10番1号
 庄原市企画課広報統計係
 ☎0824-73-1159
 メール
 kikaku-toukei@city.shobara.hiroshima.jp

広告



毎月見学会を開催しています。



Before



After

詳しくはフリーダイヤルでお問合せください。また、ホームページでもご覧頂けます。

0120-356-218
 FreeDial
<http://www.sokkuri3.com>

築90年

2階物置を撤去し吹き抜けにしたリビング



国土交通大臣許可(特-17)第4638号
住友不動産

新築そっくりさん 広島東営業所
 〒739-0011 東広島市西条本町7-29(林ビル1階)
 TEL082-431-3525 FAX082-423-1751